

## 昭和56年度作況一覽

秋まき小麦	えん麦	大豆	小豆	ばれいしょ	てんさい
やや不良	平年並	不良	不良	不良	不良

### I. 気象概況

4月から10月までの概況は次のとおりである。

4月：

中旬が平年より2.4℃低い極低温であった。降水量、日照時間はともに少なかった。

5月：

上旬はやや高温であったが、中、下旬はそれぞれ平年より4.5℃3.9℃低い極低温であった。降水量は上、中旬が少なく、下旬は平年の約2倍と多かった。日照時間は全旬少なく、特に下旬は平年の約52%と極寡照であった。

6月：

前月に引き続き低温で、特に上旬は平年より3.0℃低い極低温であった。降水量は上、中旬が少なく日照時間は全旬少なかった。

7月：

中旬が平年より3.2℃高い極高温であった。真夏日は中旬に2日、下旬に3日記録した。降水量は上、中旬が多く、下旬が少なかった。日照時間は上旬が平年の約51%と極寡照で、下旬がやや多かった。

8月：

上旬は旬前半に真夏日を3日記録したが、その後中旬までやや低く経過した。降水量は前旬非常に多く3日より5日にかけて416.5mm、11日に89.5mm、23日に129.5mmを記録し、月合計で平年の約4.9倍であった。日照時間は前旬少なく、特に上、下旬が少なかった。

9月：

上旬が平年より2.9℃低い極低温で下旬が1.2℃高温であった。降水量は上旬が平年の約1.9倍と多雨であった。日照時間は中旬がやや多かったが上、下旬は少なかった。

10月：

平均気温は、全旬ほぼ平年並であった。降水量は上、中旬が少なかった。日照時間は全旬やや少なく、特に下旬が少なかった。

以上、農耕期間(4月～10月)の積算平均気温は2925.6℃で平年(3086.3℃)より、160.7℃低かった。降水日数は81日で、ほぼ平年(79日)並であったが、降水量は1233.7mmで平年(661.8mm)より571.9mm多く、平年の約186%であった。日照時間は1062.2時間で平年(1245.8時間)183.6時間少なく、平年の約85%であった。全般的に低温、極多雨、寡照であった。

## II. 昭和56年度の作況

### 1. 秋播小麦 昭和56年度の作況: やや不良

事由: 播種期は9月10日で平年に比し3日早く、秋期の生育は概ね順調に推移した。冬期の積雪が多く、融雪期は平年より7日おくれ当ほ場の雪腐病の発生は多かった。起生後5月中旬以降6月下旬まで低温に経過したため生育は遅延し、出穂期は両品種共に平年に比し4日おくれた。出穂後は降雨多く経過し、稈長及び穂長は平年を上回り登熟後期の7月下旬は多照、寡雨となったが成熟期は出穂のおくれに順じ、平年より4~7日遅延した。子実収量は「タクネコムギ」は穂先部分の稔実が悪く平年に比し5%低収「ホロシリコムギ」は平年並であった。

以上により、昭和56年度の作況はやや不良である。

品種名 項目/年次		ホロシリコムギ			タクネコムギ		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期(昭55.月.日)		9.10	9.13	△3	9.10	9.14	△4
出穂期(昭56.月.日)		6.17	6.13	4	6.12	6.8	4
成熟期(昭56.月.日)		7.30	7.26	4	7.26	7.19	7
草丈 (cm)	昭55.10月20日	22.5	23.2	△0.7	27.1	32.2	△5.1
	5月20日	43	34.8	8.2	40.9	36.3	4.6
	6月20日	99.4	98.1	1.3	89.3	93.1	△3.8
茎数 (本/㎡)	5月20日	859	1389	△350	675	1033	△358
	6月20日	570	570	0	507	582	△75
成熟期に おける	稈長(cm)	101	96	5	91	89	△2
	穂長(cm)	9.2	8.8	0.4	9.8	8.3	1.5
	穂数(本/㎡)	553	577	△24	500	502	△2
子実重(kg/10a)		459	462	△3	387	407	△20
千粒重(g)		41	41.8	△0.8	34.9	37.9	△3.0
子実重平年対比(%)		99	100	△1	95	100	△5

注) 平年値は前7か年中、「ホロシリコムギ」は昭和49年、52年を除く、「タクネコムギ」は昭和50年、54年を除くそれぞれ5か年平均。ただし、草丈および茎数の平年値は前年の値。

### 2. えん麦 昭和56年度の作況: 平年並

事由: 播種期は平年より8日早かったが、生育期間前半、とくに5月中旬より6月下旬までの低温が影響し生育遅延した。草丈の伸長はおおむね順調で茎数も平年より多く推移したが出穂期は3日遅かった。成熟期は生育の遅れとともに8月3日以降の集中豪雨により更におくれ8月20日となり平年に比し、6日遅かった。成熟期の穂数は多かったが、登熟がやや悪く千粒重が低下した。

以上により、昭和56年度の作況は平年並である。

品種名 項目/年次		オホーツク		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		4.27	5.5	△8
出芽期(月.日)		5.13	5.18	△5
出穂期(月.日)		7.10	7.7	3
成熟期(月.日)		8.20	8.14	6
草丈 (cm)	6月20日	50.7	48.6	2.1
	7月20日	117.7	117.3	0.4
茎数 (本/50cm畦)	6月20日	79.8	86.2	△6.4
	7月20日	52.5	42.3	10.2
成熟期に おける	稈長(cm)	109	101	8
	穂長(cm)	23.7	21.8	1.9
	穂数(本/㎡)	276	249	27
子実重(kg/10a)		350	350	0
リットル重(g)		413	470	△57
千粒重(g)		31.5	33.9	△2.4
子実重平年対比(%)		100	100	0

注) 平年値は前7か年中、昭和53年、54年を除く5か年平均。

3. 大豆 昭和56年度の作況:不良

事由:播種は平年より2日早く、その後低温に経過したために発芽は3～5日の遅れとなった。「ユウヒメ」を除いては発芽揃いは良好であった。初期生育は6月上旬より7月上旬まで低温寡照に経過したために劣った。その後も低温寡照が続いたために徒長ぎみで、分岐も極端に少なかった。7月中旬より天気は好転し、気温も上昇したために生育は回復し、開花期は「北見白」が7月26日で平年より3日遅れ、「ユウヅル」は8月3日で1日遅れとなった。しかし、8月3～5日の集中豪雨により24時間滞水したことおよび8月12日、8月23日にも集中豪雨に遭遇したため根の機能が極端に低下した結果、着莢数が著しく減少した。したがって、集中豪雨以降は平年並みの気候に推移したが根の機能低下により成熟期は極端に遅延し、「北見白」で5日、「ユウヅル」で8日の遅れとなった。着莢数は「北見白」が平年より少なく、「ユウヅル」ではほぼ平年並であった。100粒重は「北見白」はやや重く、「ユウヅル」は小さかった。一莢内粒数は「北見白」が1.85で昨年の2.18よりはるかに少なく、「ユウヅル」もで昨年より1.73と少ないことから降水による授精障害があったと思われる。したがって、子実収量は「北見白」で230kg/10aで平年の73.3%であり、「ユウヅル」で235.9kg/10aで平年比78.4%となった。  
 以上により、昭和56年度の作況は不良である。

品種名 項目/年次	北見白			ユウヅル			ユウヒメ		
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期(月.日)	5.18	5.17	1	5.18	5.17	1	5.18	5.17	1
出芽期(月.日)	6.11	6.6	5	6.11	6.7	4	6.13	6.10	3
開花期(月.日)	7.26	7.23	3	8.3	8.4	△1	7.28	—	—
成熟期(月.日)	10.8	10.3	5	10.22	10.14	8	10.12	—	—
主茎長 (cm)	6月20日	5.7	7.9	△2.2	5.6	7.0	△1.4		
	7月20日	33.0	28.2	4.8	25.9	25.7	0.2		
	8月20日	63.4	51.4	12.0	61.6	63.1	△1.5		
	9月20日	60.7	52.4	8.3	63.2	64.4	△1.2		
	成熟期	61.4	51.6	9.8	72.3	64.0	8.3		
主茎葉数 (葉)	6月20日	0.4	0.6	△0.2	0.2	0.5	△0.3		
	7月20日	5.9	6.8	△0.9	5.2	6.8	△1.6		
	8月20日	10.3	—	—	13.4	13.1	0.3		
	9月20日	13.7	13.6	0.1	14.2	14.9	△0.7		
	成熟期	14.4	13.0	1.4	15.8	14.9	0.9		
分枝数 (本/株)	7月20日	0.3	3.2	△2.9	0.0	1.7	△1.7		
	8月20日	4.8	5.8	△1.0	4.8	4.6	0.2		
	9月20日	4.9	5.7	△0.8	4.7	4.5	0.2		
	成熟期	4.8	5.7	△0.9	7.1	4.1	3.0		
着莢数 (莢/株)	9月20日	52.3	72.0	△19.7	47.5	55.6	△8.1		
	成熟期	65.0	70.0	△5.0	54.6	53.1	1.5		
子実重(kg/10a)	230	312	△82	236	301	△65	251	—	—
百粒重(g)	27.8	26.8	1.0	41.5	42.1	△0.6	41.3	—	—
虫喰率(%)	1.5	0.6	0.9	1.4	0.9	0.5	1.4	—	—
品質(等級)	2上	2	—	2上	2	—	1中	—	—
子実重平年対比(%)	73	100	△27	78	100	△22	—	100	—

注) 平年値は前7か年中、昭和50年、53年を除く5か年平均。ただし、「ユウヒメ」は前2か年平均。

#### 4. 小豆 昭和56年度の作況:不良

事由:播種期は5月18日で平年より3日早く、出芽期は6月12日で平年より5日早かった。初期生育は7月上旬まで低温に経過したため停滞気味であった。しかし開花期の生育は7月中旬から8月上旬にかけては高温に経過した。このため初期生育の遅れをとりもどしたかに見えたが、8月3～5日にかけて集中豪雨があり圃場は約10cm3日間滞水したために小豆は根腐れ症状を呈してほとんどの個体が枯死し、調査不能となった。  
以上により、昭和56年度の作況は不良である。

品種名 項目/年次	宝小豆		
	本年	平年	比較
播種期(月.日)	5.18	5.21	△3
出芽期(月.日)	6.12	6.17	△5
開花期(月.日)	7.31	7.28	3
成熟期(月.日)	—	9.1	—
子実重(kg/10a)	—	214	—
百粒重(g)	—	11.8	—
層粒率(%)	—	2.9	—
子実重平年対比(%)	—	100	—

注) 平年値は前7か年中、昭和50年、55年を除く5か年平均。

#### 5. ばれいしょ 昭和56年度の作況:不良

事由:4月27日に平年より11～14日早く播種を行った。その後低温に経過したため萌芽期まで43日の日数を要した。萌芽後も低温のため初期生育は劣っていた。7月上旬まで低温に経過し開花期は2～5日の遅延であった。7月中旬は高温で土壌水分が多かったため、7月20日現在での茎長は平年値を上回った。8月上旬の豪雨により水深5～10mmで約30時間滞水し、塊茎腐敗が発生した。腐敗率は「農林1号」で32.8%、「男爵薯」で66.6%であった。このように水害の影響を著しく受けたため茎葉の枯凋期が正常でないため、収穫を平年の枯凋期に行った。上いも収量は「農林1号」で平年比48%、「男爵薯」では15%となり、また澱粉価も低かった。  
以上により、昭和56年度の作況は不良である。

品種名 項目/年次	農林1号			男爵薯			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
植付期(月.日)	4.27	5.8	△11	4.27	5.11	△14	
萌芽期(月.日)	6.9	6.4	5	6.9	6.10	△1	
開花期(月.日)	7.10	7.5	5	7.10	7.8	2	
枯凋期(月.日)	—	9.20	—	—	9.2	—	
茎長 (cm)	6月20日	16.0	21.4	△5.4	9.8	14.2	△4.4
	7月20日	61.9	60.0	1.9	53.3	41.9	11.4
	8月20日	67.3	72.4	△5.1	54.9	46.8	8.1
茎数 (本/株)	6月20日	4.4	4.8	△0.4	3.3	3.1	0.2
	7月20日	4.2	4.7	△0.5	4.1	3.8	△0.4
	8月20日	6.9	5.0	1.9	3.7	3.6	0.1
上いも重(kg/10a)	1,844	3,874	△2,030	506	3,098	△2,845	
でん粉価(%)	13.2	14.3	△1.1	13.5	12.9	1.6	
上いも重平年対比(%)	48	100	△52	15	100	△85	

注) 平年値は前7か年中、「農林1号」は昭和51年、52年を除く、「男爵薯」は昭和50年、54年を除くそれぞれ5か年平均。「上いも」は20g以上の塊茎である。

6. てんさい 昭和56年度の作況:不良

事由:根雪終は平年より7日遅い4月14日であったが、その後の天候が順調に経過したため、耕鋤初は平年並の4月27日であった。移植期は、平年より3日遅い5月9日であった。移植直後に適当な降雨があり、活着はおおむね良好であった。しかし、5月中旬より極低温、極寡照に経過したため、生育は一時停滞気味であった。7月に入ってから天候の回復とともに、生育も平年並に戻ったが、8月上旬から9月上旬にかけての計4回の多雨により、ほ場の過湿状態が長く続き、地上部の生育は急激に低下した。また、順調であった根部の肥大も鈍り、根周は平年より小さくなった。さらに、黒根病により腐敗個体率は約40%に達した。このため、根重、根中糖分ともに平年を下まわりそれぞれ平年比82%、97%であった。

以上により、昭和56年度の作況は不良である。

品種名(栽培法) 項目/年次		モノドリ(移植)		
		本年	平年	比較
播種期(月.日)		4.1	4.2	△1
移植期(月.日)		5.9	5.6	3
収穫期(月.日)		10.19	10.19	0
草丈 (cm)	5月20日	6.3	4.6	1.7
	6月20日	19.1	20.6	△1.5
	7月20日	45.1	45.7	△0.6
	8月20日	51.8	52.4	△0.6
	9月20日	50.2	56.9	△6.7
	収穫期	47.8	54.0	△6.2
葉数 (枚)	5月20日	3.4	3.4	0.0
	6月20日	8.7	10.3	△1.6
	7月20日	20.5	17.5	3.0
	8月20日	24.4	24.1	0.3
	9月20日	26.8	29.1	△2.3
	収穫期	24.1	28.0	△3.9
根周 (cm)	7月20日	20.7	20.1	0.6
	8月20日	30.1	29.9	0.2
	9月20日	31.9	34.8	△2.9
	収穫期	33.4	37.1	△3.7
茎葉重(t/10a)		4.13	5.78	△1.65
根重(t/10a)		4.99	6.12	△1.13
根中糖分(%)		16.09	16.6	△0.51
糖量(t/10a)		794	1,013	△219
根重平年対比(%)		82	100	△18
根中糖分平年対比(%)		97	100	△3

注) 平年値は前4か年平均。